

2025年度の 最重点活動

2025年度は、㈱ダイエーが営業利益の改善を果たし、安定的に利益を創出できる企業として、事業を継続していくために非常に重要な年度となります。2024年度のダイエーの営業数値が依然として、厳しい状況となっている中で、継続的に労働条件向上を果たすためには、組合員自らも主体となって生産性向上の取り組みをはじめとした職場視点での経営対策活動に取り組んでいく必要があります。

㈱ダイエーのイオングループ事業再編については、東西エリアの再編フレームが2025年度中には同時に明確になる可能性があることも想定し、再編に伴ない発生する各種労使協議や労組統合に向けて、引き続き、準備

を整えていく必要があります。

労働組合の活動は、「組合員一人ひとりが関心を持ち、活動に参加していくことで大きな力になる」という『1人の100歩より100人の1歩』という考えがあります。今後、起こりうる様々な環境下において、ダイエーユニオンの組織力を持続、かつ強固にしていくためには『1人の100歩より100人の1歩』の考えのもと、支部役員をはじめ、活動を推進する担い手を増やし、活動の輪を広げること、より多くの組合員の皆さんにダイエーユニオンを身近に感じてもらい、活動へ参加・参画いただきたいと考えています。

あわせて、2025年7月は第27回参議院議員選挙が施行予定となっています。私たちの代表である「田村 まみ」の必勝に向けての支援活動を重点的に行なっていく必要があります。

以上を踏まえ、2025年度の活動において、以下の4点を最重点活動とします。

- 1 継続的な「労働条件の向上」を果たすべく、職場目線での生産性向上運動に取り組みます。
- 2 各地域の事業再編を踏まえ、労組の解散・統合を見据えた組織体制の構築に取り組みます。
- 3 活動への共感・賛同の輪を広げ、より多くの組合員が活動へ参加・参画できる機会の創出に取り組みます。
- 4 政策制度実現に向けて、第27回参議院議員選挙における「田村 まみ」必勝に向けた活動に取り組みます。

1. 継続的な「労働条件の向上」を果たすべく、職場目線での生産性向上運動に取り組みます。

- (1) 職場の組合員が起点となって、客数の増加に繋がる取り組みや店舗の生産性向上に繋がる取り組みについて議論・検討の上、実行に移します。**支部**
- (2) ダイエー、イオングループ各級労使にて議論・討議を行ない、抜本的な生産性向上が果たせる施策の実行に取り組みます。
- (3) 職場におけるムリ・ムダ・ムウ排除の実践により、働きやすさ改善・生産性向上に取り組みます。**支部**

2. 各地域の事業再編を踏まえ、労組の解散・統合を見据えた組織体制の構築に取り組みます。

- (1) 事業再編を見据え、誰もが安心して働き続けられる総合労働条件の構築に向けて取り組みます。
- ① 事業再編に向けた総合労働条件の整備
関東・近畿エリアにおける事業再編後の会社組織を踏まえ、新たな労使関係の構築、および労働協約、労使協定、および諸規則の策定をはじめとした総合労働条件の整備を行ないます。
- ② 統合準備委員会の継続開催
KOHYO労働組合との統合準備委員会を継続開催し、㈱光洋との会社統合後の総合労働条件の維持・向上に取り組みます。

- (2) 労組統合に向けて、組織的視点、財政的視点等において、ダイエーユニオンとKOHYO労働組合の2労組間の活動を整理し、活動の融合を図ります。
- (3) 関東・近畿エリアの再編フレームを踏まえて、イオン労連、および加盟組合との連携を図ります。

3. 活動への共感・賛同の輪を広げ、より多くの組合員が活動へ参加・参画できる機会の創出に取り組みます。

- (1) 支部組合員をメンバーの中心としたプロジェクトを新設し、様々な活動への参加・参画機会の創出に取り組みます。
- ① 「組合PR推進プロジェクト」
情報発信ツールとして運営している公式LINEアカウントの友だち登録の推進をはじめ、多くの組合員にダイエーユニオンを身近に感じてもらう活動に取り組みます。

② 「コミュニケーション推進プロジェクト」

コミュニティリーダー懇談会、ママ友交流会の起案や運営等を行ない、同じ境遇・立場での課題の集約や職場を越えた横のつながりづくりを目的としたコミュニケーション機会の創出に取り組みます。

③ 「ボランティア推進プロジェクト」

イオン労連が取り組む「贈水の輪」の周知、およびボランティア活動の運営を行ない、多くの組合員が社会貢献に参加できる機会の創出に取り組みます。

- (2) 「グループ企画実行委員会」を設置し、各地区イベントの企画、運営を行ない、組合員同士の交流を深める機会の創出に取り組みます。

4. 政策制度実現に向けて、第27回参議院議員選挙における「田村 まみ」必勝に向けた活動に取り組みます。

- (1) 2025年7月施行予定の第27回参議院議員選挙において、UAゼンセン、およびイオン労連組織内候補者である「田村 まみ」の2期目の必勝に向けた支援活動に総力を挙げて取り組みます。**支部**
- (2) 政治への直接参加を進めるため、公民権行使(投票率100%)の推進に取り組みます。**支部**

2025年度 分野別の活動のポイント

一人ひとりが 高めあう活動

経営対策活動、
雇用・労働条件対策活動



1. 職場視点での生産性向上の取り組みによる営業力強化

2025年度においても人への先行投資を実現するために、組合員が主体となって、「生産性向上」に取り組むとともに、継続的に生産性向上を果たすことによる「企業業績の向上」、「労働条件の向上」のサイクルが安定的に循環する体制の構築に取り組めます。あわせて、職場オルグ等を通じて、職場の課題を把握し、各級労使会議体等で組合員の声を経営に届け、課題の改善に取り組めます。

2. 組合員の総合労働条件の維持・向上

依然として+2.5%(前年同月比)を超える物価上昇や、16倍を超える大卒求人倍率が示す、将来加速していく人員不足などへの対応、および組合員のワーク/ライフ/バランスの実現に向けて、2025総合生活向上運動をはじめとした、総合労働条件の向上に取り組めます。あわせて、イオン労使で掲げる中期的な生産性目標・労働条件目標の達成に向けて取り組めます。

3. 会社統合を踏まえた雇用の完全確保、および総合労働条件の整備

関東・近畿エリアにおける再編フレームに準じた統合後の新たな労使関係の構築に向けて取り組みます。また、雇用の完全確保を前提に、誰もが安心して働き続けられる総合労働条件の構築に向けて、労使協議を継続します。

4. 企業の働きがい・やりがい向上へ向けての積極的な関与

職場風土・労働環境整備(サービス労働対策、労災防止、後方諸施設の整備等)、ダイバーシティ推進、カスタマーハラスメント対策等の様々な会社の取り組みに労働組合として積極的に関わり、ES(従業員満足)の向上に取り組めます。

一人ひとりが 語りあう活動

コミュニケーション活動、
教育活動



1. 身近で楽しい活動の推進

ダイエーユニオンのファンづくりを目的に、各種イベント(中央、地区、支部)を実施し、組合活動への参加・参画の拡大をはかります。あわせて、新設する「コミュニケーション推進プロジェクト」等を通じて、組合員同士の交流を深める機会を創出し、楽しい労働組合を体現します。

2. 充実した情報宣伝活動の継続

ホームページを中心に広報機能をより充実させ、タイムリー、かつビジュアル面でも分かりやすい情報宣伝活動を行ないます。あわせて、機関紙・SNS・HP等の様々な情報宣伝機能の整理を行ない、目的に応じたツールを駆使した情報を提供します。また、「組合PR推進プロジェクト」を通じて、情報発信ツールとして運営している公式LINEアカウントの友だち登録を推進する等、より多くの組合員にダイエーユニオンを身近に感じてもらうための活動に取り組めます。

3. 職場の課題解決に向けた取り組みの推進

支部が主体性を持って支部活動を推進できるよう、迅速な職場の課題解決、および支部活動のサポートに取り組めます。また、各級リーダーが労働組合の存在意義や活動等について改めて理解を深め、支部活動が活性化することを目的に、内部教育の実施、および上部団体教育への派遣を行ないます。支部外組合員、支部外出向者においても、ブロック長による職場オルグを通じた課題解決への取り組み、およびコミュニケーション機会の創出に取り組めます。

4. 組合員との信頼関係構築に向けた組織体制の推進

中央役員、中央委員、支部役員の各級リーダーを選出し、組合活動への理解を深める体制を推進します。また、内部専門委員会の機能を整理し、より職場の声を踏まえた活動を推進できるように取り組みます。

5. 事業再編を踏まえた上部団体、および他労組との連携

KOHOY労働組合との統合準備委員会を継続的に開催し、組織的視点、財政的視点等において、2労組間の活動を整理し、活動の融合を図ります。あわせて、関東・近畿エリアの再編フレームを踏まえて、イオン労連、およびイオングループ各社の労働組合との連携を図ります。

一人ひとりが 助けあう活動

社会貢献活動、
共済活動



1. 総合福祉の実現に向けた取り組み

組合員の仕事、生活に密着したあらゆる相談に対応できるフォロー体制を継続します。あわせて、組合員の生活を豊かにするための一環として、相互扶助の活動であるUAゼンセン共済の加入促進に引き続き努めるとともに、総合福祉の実現に向け、健康保険組合の保健事業などの周知に取り組めます。

2. 想いをカタチにする活動の継続

UAゼンセンやイオン労連が取り組む活動を周知し、社会貢献活動への参加・参画機会の拡大をはかります。また、ボランティア基金を活用しながら、イオン労使が取り組む「イオンハートフルボランティア」への参加を通じた地域社会への貢献活動に取り組めます。あわせて、「ボランティア推進プロジェクト」を通じて、「贈水の輪」活動の周知を行ないます。

一人ひとりが 認めあう活動

男女共同参画活動



上部団体の方針に基づき、「男女共同参画アクションプラン」に掲げる取り組みを継続します。また、個々のライフスタイルを踏まえた多様な人材が安心して働き続けることができるよう、意見集約の機会を創出するとともに、課題解決に取り組めます。

一人ひとりが 支えあう活動

政治活動



1. 第27回参議院議員選挙に対する取り組み

2025年7月施行予定の「第27回参議院議員選挙」において、UAゼンセン、およびイオン労連組織内候補予定者である「田村 まみ」の必勝に向けて、総力を挙げて取り組みます。

2. 政治活動の日常化に向けた取り組み

政治研修会の開催やUAゼンセン、およびイオン労連組織内議員との交流など、様々な機会を通じて政治が身近に感じられる活動を推進します。また、上部団体の方針に基づき、第50回衆議院議員選挙を中心とした、各級選挙における公民権行使に引き続き取り組みます。